

春

4月 まだ緑の葉がでない枯れ野の森の中で、ダンコウバイ、アブラチャンの黄色の花が咲き始めます。



アブラチャン

見逃してしまいそうなピンクのミヤマウグイスカグラの小さな花も咲いています。



ダンコウバイ



ミヤマウグイスカグラ

沢沿いのアブラチャンの群生する散策路は、しばらくの間、黄色に霞みます。

これも、ほんの束の間、柔らかな葉が広がるにつれ、若葉色に煙るブッシュに変身していきます。

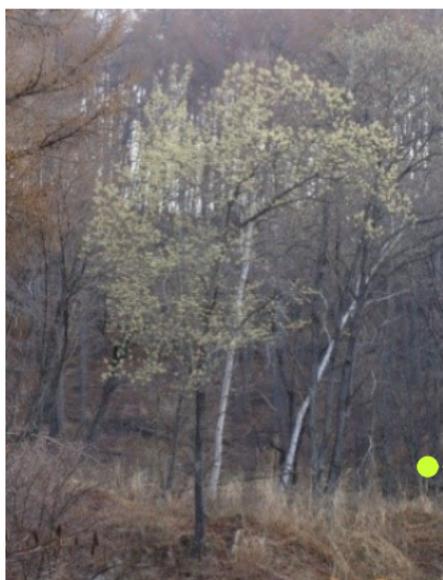


アブラチャンの葉

頂上広場から見えるハヶ岳にはまだ雪が残ります。



野鳥の観察会が催される頃には、
バッコヤナギ(ヤマネコヤナギ)、コブシの花が枝を彩ります。



バッコアヤナギの
雄花(上)と雌花(下)



コブシ



5月 カラマツの新芽も葉を広げ始めます。そして、次々と...



カラマツ



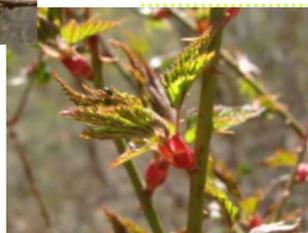
リョウブ



ヤマハンノキ



ツノハシバミ



ニガイチゴ

ハート型の葉で空を埋めるのはカツラ。



新緑の季節です。淡いすけるような緑が、満ちてきます。



足元をよく見て下さい。色々な種類のスミレが咲きます。
この森は、スミレの種類が豊富です。
ほんの一時期の宴うたげ、スプリングエフェメラル(春の妖精ようせい)は
あっという間に姿を消します。



アケボノスミレ



アカネスミレ

山桜(カスミザクラ)が
あちこちを淡いピンクに染め
ています。
ソメイヨシノもいいですが、
山桜のほっそりとした枝ぶ
り、優しいピンクも心なご和ませ
てくれます。



野鳥も賑やかになってきます。
ウグイスは、馴染のフレーズの練習中。
沢は、せせらぎのソプラノ歌手ミソサザイの舞台になります。
ハルゼミの鳴き始めるまで、野鳥の観察に適した季節です。